

ホタテガイ採苗速報

成熟は順調に進んでいます

平成30年1月5日に湾内2地点で養殖2年貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。なお、東湾3地点の地まき貝の成熟度調査は、時化のため欠測となっています。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均と全湾平均ではそれぞれ15.9、16.6と、平年（平成5～29年の同時期の平均値）それぞれ14.1、14.7よりやや高く、東湾平均では17.3と平年（17.0）とほぼ同じ状況になっています（図1～2）。異常貝率は、西湾平均では30.0%と、平年（4.9%）よりもかなり高くなっていますが、東湾平均では6.7%でした。各地の測定結果は表1のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 1月5日)

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)	
蓬田村	欠測							
青森市奥内	欠測							
久栗坂実験漁場	1月5日	10.0	122.1	51.1	41.8	8.2	15.9 (14.1)	30.0 (4.1)
平内町浦田	欠測							
西湾平均		10.0	122.1	51.1	41.8	8.2	15.9 (14.1)	30.0 (4.9)
野辺地町	欠測							
むつ市	欠測							
むつ市川内町	欠測							
川内実験漁場	1月5日	10.6	131.0	58.9	44.8	10.0	17.3 (17.6)	6.7 (2.0)
東湾平均		10.6	131.0	58.9	44.8	10.0	17.3 (17.0)	6.7 (1.6)
全湾平均		10.3	126.5	55.0	43.3	9.1	16.6 (14.7)	18.4 (3.7)

(): H5-H29の平均値

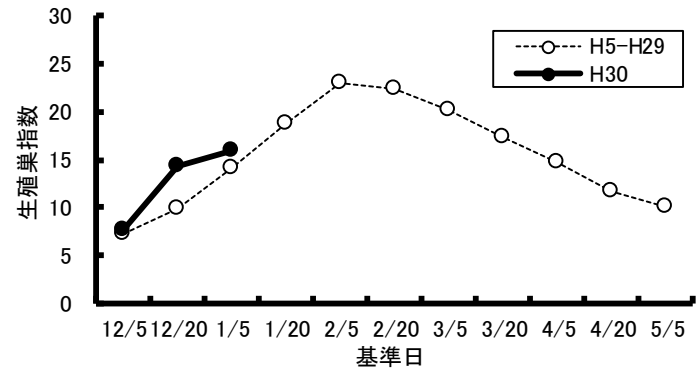


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

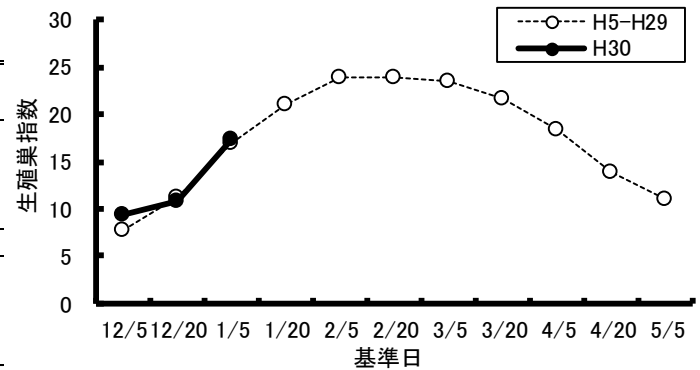


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

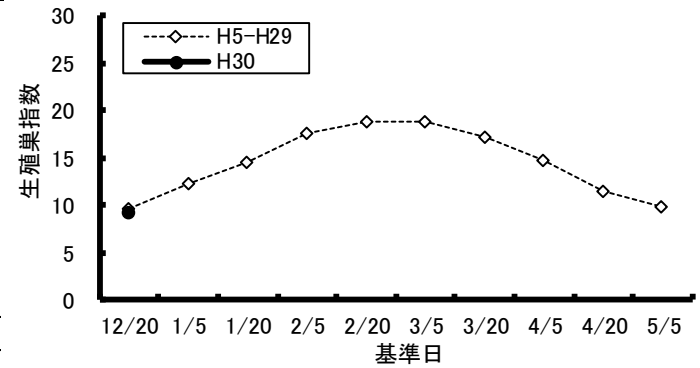


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

2 海況

各ブイの1月5日～11日の週別平均水温は表2のとおりです。15m層の1月第2半旬平均水温は、平館ブイ、青森ブイ、東湾ブイでいずれも平年並みとなっています。

表2 各ブイの1週間(1/5～11)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	10.5 ~ 10.9	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	5.1 ~ 5.4
蓬田ブイ	9.4 ~ 10.1	清水川ブイ	8.4 ~ 8.6	川内ブイ	5.7 ~ 5.7
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	7.6 ~ 7.6	脇野沢ブイ	6.5 ~ 6.8
青森ブイ	9.2 ~ 9.2	東湾ブイ	6.3 ~ 6.3		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	5.4 ~ 5.7		

--: メンテナンス中

3 今後の見込み

成熟は西湾でやや早め、東湾で平年並みとなっています。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

なお、西湾、東湾ともに貝の大きさは平年並みですが、秋季養殖ホタテガイ実態調査において西湾では親貝数が昨年の半分以下（表3）になっているのに加え、全湾で異常貝率が平年よりかなり高めとなっています。今後シケが連続するとへい死し、親貝数が今以上に減少する恐れがありますので配慮が必要です。詳しくは、12月1日に発行したホタテガイ養殖管理情報を参考にしてください。

表3 秋季養殖ホタテガイ実態調査における10月1日現在の各湾の親貝数

	西湾(万枚)	東湾(万枚)	合計(万枚)
H22	836	3,793	4,629
H23	1,692	9,243	10,935
H24	2,784	10,790	13,574
H25	1,852	10,149	12,001
H26	2,308	11,353	13,661
H27	3,183	14,900	18,083
H28	2,875	16,057	18,932
H29	1,372	12,707	14,079

